

森のムッレ教室とは？

約 60 年前、ヨスタ・フロム氏によって作られたスウェーデン発の子ども向け環境教育です。持続可能な社会形成を目指し、世界 11 ヶ国に広がっています。

(社)日本野外生活推進協会

2022.1.15 発行



認定こども園いちじまこども園ムッレ教室にて

ごあいさつ

一般社団法人 日本野外生活推進協会
代表理事 高見 豊

新年、明けましておめでとうございます。

新型コロナウイルスは2年にわたって我々人類社会に大きな影響を与えています。

昨年の夏に開催された東京オリンピック・パラリンピックは無観客開催という異例のオリンピック・パラリンピックとなりました。その後、秋になっても感染拡大は収まらず緊急事態宣言が続きしました。11月入り感染者は減少しましたが、新型オミクロン株が広がりを見せており、水際での防御をたよりにしていますが、すでに、市中感染が始まっており予断を許さない状況にあり、不安な状況が続いています。

私たちの（一社）日本野外生活推進協会でも、昨年2021年も、毎年5月の連続リーダー養成講座や全国シンポジウムなどの重要な事業開催を断念、ネットワーク組織代表者会議もリモート開催となり、皆さまとお会いできず残念な1年でありました。

さて、本年2022年は、1992年7月26日創立の年から30年目の年となります。

創立30年という大きな節目にあたり、「創立30周年記念式典」や「森のムッレ国際シンポジウム in ジャパン」の事業を実施したいと考え、現在、実行委員会を立ち上げ、2022年11月15日～20日の日程の中で実施する予定で、楽しい事業になるよう企画を練っているところです。

今だ、収束はいたしておりませんが、過去30年間の間にお世話になったスウェーデンの講師、リーダー、日本のムッレ活動を牽引していただいていた皆さま、これからムッレの活動を引き継いでいていただける皆さまに感謝をすると同時に共に30周年を祝い、将来への飛躍の機会となることを願っています。活動をする世界の皆さまがウイルス感染を気にせず来日できるように、コロナの早い終息を願うばかりです。

本年こそ、全国のムッレ教室が通常に戻り、楽しく開催できますことを、また、リーダーの皆さまにとって、そして子どもたちにとって良い年になりますことを、お祈りいたしております。

理 事

代表理事	高見 豊
理 事	君塚 昌俊
理 事	小山 通子
理 事	西村 恭子
理 事	本莊 賀寿美
理 事	原田 優
理 事	荻野 尚子
理 事	阪谷 裕子
理 事	吉住 亜由美
監 事	足立 邦明
監 事	余田 淳子



事務局

事務局長	高見 幸子
協会事務局事務員	
	松本 みゆき
ネットワーク事務局事務員	
	松 枝 純

＊ ＊ 国内情報 ＊ ＊ オンラインFIKA 2021年3月

コロナ禍で活動が制限される中、2020年度をどう乗り切ったか、2021年度の抱負など、ネットワーク組織代表者の皆さまにご参加いただき、近況報告をいただきました。

2021年3月17日(金)午後7時30分～21時30分

参加団体(10団体)

認定こども園いちじまこども園、認定こども園千草こどもの園、NPO法人青空保育たけの子、森のムッレ新潟、環境ネットワーク「虹」、NPO法人奈良地域の学び推進機構、森のムッレしずおか、NPO法人小金井地域の学び推進機構、E-House International School、地球に夢中研究所 (順不同、敬称略)

ネットワーク団体の皆さまの活動をお聞きでき、遠方でも同じ意識でつながっていることが実感できたオンラインFIKAでした。今後も、継続して開催していきたいと考えていますので、お楽しみに。

オンラインセミナー 2021年5月

「スウェーデンの森のムッレ教室の実践とSDGs教育」(主催:株式会社アサヒトラベルインターナショナル 共催:公益財団法人幼少年教育研究所、一般社団法人日本野外生活推進協会)と題し、オンラインセミナーとして開催されました。当協会理事の荻野尚子氏、事務局長の高見幸子も登壇いたしました。

オンライン開催

世界の幼児教育・福祉セミナー

第1回 スウェーデンの森のムッレ教室の実践とSDGs教育

森のムッレ教室は、5～6歳児を対象にした自然環境教育プログラムです。スウェーデン野外生活推進協会の事務局長だったヨスタ・フロム氏が開発しました。1957年からはじまり、スウェーデンではこれまでに200万人以上の子どもたちが参加しました。また、日本、フィンランド、ドイツ、ラトビア、ロシア、英国、韓国でも活動が行われています。

*2021年以内に国内での森のムッレ教室実践の模倣、2022年にスウェーデンでの模倣を予定しています。

第1回(オンデマンド配信) 2021年5月18日(火)～6月6日(日)の間にご視聴ください

■『森のムッレ教室の概略と「森での遊び」、スウェーデンの幼児期のSDGs教育について』

お申し込みいただいた方は、2021年5月18日(火)～6月6日(日)の期間にご視聴いただけます。

講師: 高見 幸子 氏
一般社団法人日本野外生活推進協会事務局長/スウェーデン在住

第2回 2021年5月29日(土) 15:30～17:30 (Zoomライブ配信)

■『ご挨拶』 高見 幸子 氏 一般社団法人日本野外生活推進協会(森のムッレ協会)代表理事

■『スウェーデンの森のムッレ教室の具体的な活動とSDGsとのつながり』
ツラートロ先生、カミラ・リンドグレン先生 通訳: 高見 幸子 氏
スウェーデン野外生活推進協会講師 兼 パーハラス・ステイカー研修株式会社共同代表

■『ツラートロ先生、カミラ・リンドグレン先生とのQ&Aセッション』
佐藤 康富 先生 東京家政大学短期大学部 保育科 教授

■『森のムッレ教室の日本で実践的なつながりと今後』
井上 美智子 先生 大阪大学 教育学部 教授

■『森のムッレ教室の実践から学んだこと』
荻野 尚子 先生 認定こども園いちじまこども園 元園長

参加費

■全2回セット 2,750円(税込み)

お申し込みフォームはこちら→

お申し込み方法

① 開催日の3日前までにお申し込みください。それ以降のお申し込みはご相談ください。

② 参加可能なインターネット環境とデバイスをご準備ください。アプリケーションは「ZOOM」を使用します。

③ 事前に参加人数を決定してください。

④ 右のQRコードを読み取り、お申し込みフォームに必要事項を入力し、送信してください。

⑤ オンライン参加の手段、お支払い方法等につきましては、お申し込み後の案内メールにてお知らせいたします。

⑥ Emailにてお申し込みの場合は、お名前、お電話番号、ご所属を明記の上、atseminar@ati-jp.comまでお申し込みください。

主催: 株式会社アサヒトラベルインターナショナル

共催: 公益財団法人 幼少年教育研究所 一般社団法人 日本野外生活推進協会(森のムッレ協会)

お問い合わせ先: 株式会社アサヒトラベルインターナショナル

〒101-0042 東京都千代田区神田東松町13 神田プラザビル7階 TEL: 03-3526-3581 FAX: 03-3526-3582

HP: www.ati-jp.com facebook: アサヒトラベルインターナショナル email: atseminar@ati-jp.com 土日祝休み

世界の幼児教育・福祉セミナー

第1回 スウェーデンの森のムッレ教室の実践とSDGs教育

登壇者のご紹介

高見 幸子 氏

スウェーデン在住。幼児の自然環境教育プログラム「森のムッレ教室」を日本に紹介し、一般社団法人日本野外生活推進協会の事務局長として普及活動をしている。スウェーデンでは、森のムッレ財団副理事長。保育や環境視察のコーディネーター、執筆活動をしている。共訳「スウェーデンにおける野外保育のすべて」新評論がある。

井上 美智子 先生

大阪大学 教育学部 教育学科 教授。神戸大学総合人間科学研究科後期博士課程修了。理学修士。博士(学術)。著書:『むすんでみよう 子どもと自然』(北大路書房 2010)、『幼児期からの環境教育』(昭和堂 2012)、『持続可能な社会をめざす 0歳からの保育』(北大路書房 2020)

Tuula Torro ツラートロ 先生

スウェーデン野外生活推進協会の森のムッレリーダー養成講座の講師。スウェーデンのみならず、フィンランドと日本でもリーダー養成講座を実施。移民の多い地域の学校向けのプロジェクトの責任者を務めた。ヨスタフロム森のムッレ財団の理事。協会のストックホルム県支部の子ども活動運営委員会の理事。

Camilla Lindgren カミラ・リンドグレン 先生

スウェーデン野外生活推進協会の森のムッレリーダー養成講座の講師。ツラートロ先生と就学前学校の保育士の研修講座を提供する会社を運営している。2020年まで8年間、私立の就学前学校を運営し校長を務めてきた。5～6歳児対象の森のムッレ教室と3～4歳児対象のクニナ教室を取り入れていた。

高見 幸子 氏

一般社団法人 日本野外生活推進協会(森のムッレ協会)代表理事
1992年7月26日、設立より会長に就任し「森のムッレ教室」の普及のために活動してきた。2020年までに225回の「森のムッレ教室」養成講座を開催し約4,000人のリーダーを養成した。現在も会長として、リーダー養成講座の講師として育成につとめている。

荻野 尚子 先生

認定こども園いちじまこども園元園長。兵庫県東播磨市市島町在住。日本野外生活推進協会の発足前、高見幸子氏から鶴庄保育園への紹介でムッレ教室を実施。以来、勤務園で活動が続けてきた。現在、当協会の理事及び講師。

佐藤 康富 先生

東京家政大学短期大学部 教授。小学校教諭・幼稚園教諭を経て、保育者養成の道に入る。子どもの協同性についての研究を起点に、アカデミックな学びとは異なる子どもの学びについて考察を深め、現在、ニュージーランドのラングストリートやスウェーデンの教育学のドキュメンテーションについて研究し、日本なりの子どもをエンパワメントする保育計画・保育記録・保育評価について構築を試みている。

※ このセミナーの配信は終了しています

100名を超える皆さまに受講いただき、さらに、皆さまのご要望により、後日、録画配信されました。森のムッレ教室は、自然の中で遊ぶだけではなく、すべてに意図をもった教育であること、それがSDGsにつながる学びであることを知っていただくセミナーになりました。

2

講談社の子育て情報ウェブマガジン「コクリコ」に、9月5日から4回連載で、森のムッレ教室について掲載いただきました。

第1回

[スウェーデン式「外遊び教育」で「木に抱きつく」深い意味 - コクリコ\[cocreco\] \(kodansha.co.jp\)](#)

第2回

[独自の自然教育「森のムッレ教室」が支える環境先進国スウェーデン - コクリコ\[cocreco\] \(kodansha.co.jp\)](#)

第3回

[日本でも体験 北欧式自然教育「森のムッレ教室」で自己肯定感が高まる - コクリコ\[cocreco\] \(kodansha.co.jp\)](#)

第4回

[「森のムッレ教室」温度・香り・色のゲームを親子で楽しむ！ - コクリコ\[cocreco\] \(kodansha.co.jp\)](#)



第3回では、日本での森のムッレ教室の取り組み例が紹介されています。この QR コードから掲載記事に移動できます。

第8回ネットワーク組織代表者会議

2021 年 10 月

10 月 24 日(日)午後4時から、オンラインにて開催いたしました。

2021 年度森のムッレ最優秀賞の授賞式とスウェーデン就学前学校の2本のビデオ上映、森のムッレ協会新潟、認定こども園千草こどもの園、NPO 法人青空保育たけの子、E-House International School、NPO 法人奈良地域の学び推進機構、三菱電機株式会社からの活動事例紹介をいただきました。

休憩後、4つのブレイクアウトルームに分かれ、参加者の皆さまの交流を深めていただきました。

今回は事前アンケートで各団体の現況と協会への要望をご提出いただきありがとうございました。ステップアップ講座や教材の提供に関する要望が多く寄せられておりましたので、今後検討していきます。



2021 年 10 月 24 日(日)午後4時00分～

参加団体 (19 団体)

森のムッレ協会新潟、ムッレ市島、環境ネットワーク「虹」 NPO 法人響育の山里くじら雲、NPO 法人青空保育たけの子、NPO 法人奈良地域の学び推進機構、NPO 法人小金井地域の学び推進機構、森のムッレしずおか、E-House International School、認定こども園あいいくの丘、認定こども園千草こどもの園、認定こども園保城さくらんぼこども園、認定こども園保城こども園、子うさぎの森保育園、虹の森保育園、認定こども園あゆみの森こども園、パイオニアキッズちょうふ園、パイオニアキッズつつじヶ丘園、三菱電機株式会社 (順不同、敬称略)

森のムッレ教室リーダー養成講座開催

2020年度に引き続き、2021年度も毎年5月の連続講座は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止となりました。しかし、各地では、受講者の人数や活動地域の制限、また開催場所や日程の調整にご配慮いただきながら、4カ所で開催することができました。(2022年1月現在)

第227回 5月 8日(土)～9日(日) 福岡県福津市 虹の森保育園 受講者18名
第228回 10月 23日(土)～24日(日) 兵庫県洲本市 千草こどもの園 受講者16名
第229回 11月 20日(土)～21日(日) 奈良県奈良市 奈良市青少年野外活動センター 受講者10名
第230回 12月 21日(火)～23日(木) 大阪府富田林市 大阪大谷大学 受講者18名



多くの受講者にお集まりいただき、62名の仲間が誕生しました。
開講のご準備をいただきました環境ネットワーク「虹」、虹の森保育園、認定こども園千草こどもの園、認定こども園あいいくの丘、NPO 法人奈良地域の学び推進機構、大阪大谷大学の皆さま、コロナ禍開催のため、多くの制限の中、いつも以上のご準備、ご配慮の下進めていただき、ありがとうございました。

日本野外生活推進協会 創立30周年記念式典

第7回「2022 森のムッレ国際シンポジウム in ジャパン」 開催(予定)

当協会は2022年7月26日に、創立30周年を迎えます。
それを記念し、「日本野外生活推進協会創立30周年記念式典」を、
また、第7回「2022森のムッレ国際シンポジウム in ジャパン」を開催いたします。

日本野外生活推進協会 創立30周年記念式典

2022年11月16日(水)、17日(木) 兵庫県丹波市 ライフピアいちじま にて開催
ご列席者につきましては、当協会よりご案内いたします

第7回「2022 森のムッレ国際シンポジウム in ジャパン」

2022年11月18日(金)、19日(土)、20日(日)
奈良市 奈良市青少年野外活動センター及び奈良市内の施設 にて開催
リーダーや当協会関係者に限らず、どなたでもご参加いただけるよう、調整中です

開催に向け準備中ですが、
新型コロナウイルス感染状況により、日程及び内容変更する場合があります。
この2つのイベントにつきましては、改めて最新情報を皆さまにお届けいたします。
何卒、ご了承ください



2021年9月18日に森のムツレ財団の2021年度の最優秀リーダー賞の授賞式がありました。受賞者は、インゲラ・ニーベリさんです。



2022年5月21日に彼女が脚本を書いた「森のムツレの演劇」が初演されます。

インゲラさんの住む町の若者の劇団が、衣装から舞台道具を手作りして若者の視点からのムツレのメッセージを伝えるとのことです。どのようなムツレの演劇になるか楽しみです。

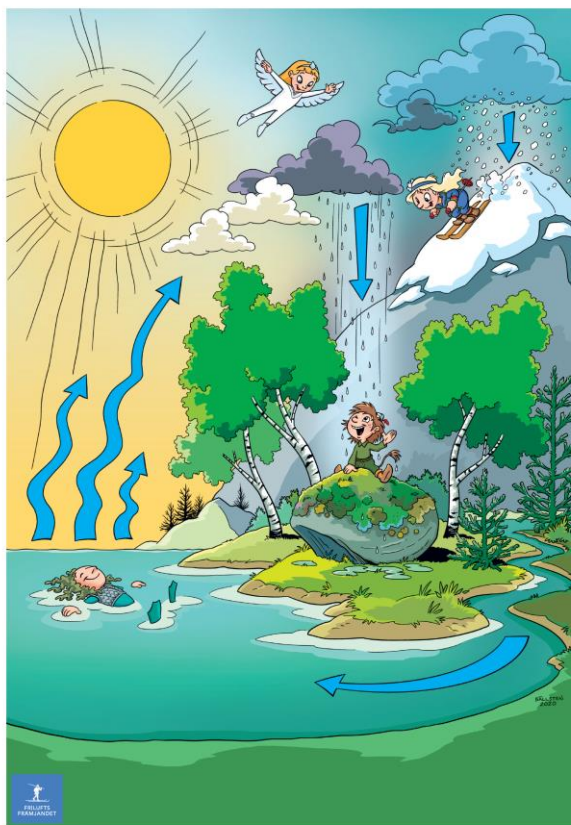
11月1日から2週間、グラスゴーで国連の気候変動会議のCOP26が開催されました。その前日のスウェーデン最大の日刊紙「DN」(ダーゲンス・ニューヘテル)の社説の風刺漫画で、会議の会場からでて森のムツレに出会っている世界の首脳の絵が描かれていました。その理由は、世界の政治家に自然科学の知識が欠如しているからだということです。ムツレ教室に行けば、自然科学の基礎が身につくという社会的な評価がスウェーデンにあるということで、リーダーたちは誇りに思いました。

スウェーデン本部は、2年間で3冊、森のムツレの新しいキャラクターを使った絵本を出版してきましたが、今回、食品メーカーのスポンサーを得て4冊目の絵本を2022年8月に出版予定です。今回は、森のムツレはノーバに出会います。気候変動がテーマです。出版社のエドモント社は、最初の3冊をフィンランド語に翻訳をして出版販売をしているとのことです。エドモント社は、日本でも、翻訳して発売をしたいと考えており、検討中です。



活発そうなノーバ、
どんなお話になるか
楽しみです！

スウェーデン本部は、森のムツレと友達たちのデジタルポスターを作りました。
日本でもご活用いただけますので、ご要望のリーダーは、当協会事務局までお問合せください。



↑ 「水の循環」



↑ 「冬のポスター」



「秋の集い」 →

※ お渡しは、PDF 形式、利用注意事項を添えて、メールで送信いたします。

ドイツからギリシアへ

南ドイツで 30 年間、ムツレ教室を開催してきたアニタさんが、数年前からギリシアでムツレ活動をしたいと活動しているヴァシリキさんの支援をしています。昨年も、アニタさんを通して、ヴァシリキさんがムツレ教室の活動をされている様子が届きました。



民主主義教育は乳幼児期から始まっている！

この度、新評論から「幼児から民主主義スウェーデンの保育実践に学ぶ」が出版されました。

翻訳は伊集守直氏、光橋翠氏、また、ネットワーク団体の社会福祉法人調布白雲福祉会の宮武慎一理事長が特別寄稿されています。



幼児から民主主義

スウェーデンの保育実践に学ぶ

エリサベス・アルネール&ソルヴェイ・ソーレマン著

伊集守直・光橋翠訳

出版社 新評論

発行年月日 2021年9月10日

定価 2,200円

ISBN ISBN978-4-7948-1191-2 C0037

四六判並製 228ページ

スウェーデンの冬景色



例年より雪は少ないものの、零下5度の日が続き、湖はスケート場に…スケートができるよう自治体が雪かきをしています



雪景色の
古民家レストラン

受賞、認定、おめでとうございます

NPO 法人青空保育たけの子 米沢品質AWARD2021 受賞

山形県米沢市の挑戦と創造を究め特に秀でた商品やサービス等の顕彰制度「**米沢品質 AWARD**」、NPO 法人青空保育たけの子が受賞されました。

受賞内容は
こちらから



社会福祉法人浄英会長生保育園 新潟県環境賞 大賞受賞

地域における優れた環境保全活動を行う団体に贈られる「**新潟県環境賞**」、森のムツレ新潟の長生保育園が受賞されました。

受賞内容は
こちらから



ネットワーク団体5団体が、 ユネスコスクールキャンディデート校に認定

かねてよりユネスコスクール申請をされていたネットワーク団体の5団体がキャンディデート校に認定されました。

長生保育園・恵和こども園・
恵和めぐみキッズランド・ふじの木保育園
(森のムツレ新潟所属)
一般社団法人悠親会子うさぎの森保育園

加盟校一覧
はこちらから



おわりに

事務局長 高見 幸子

当協会のニューズレター新年号では、2021年の当協会の活動の振り返りと、2022年の活動への展望をお伝えいたしました。また、スウェーデン本部及び海外のムツレ活動の情報も提供させていただきました。コロナ禍でも、当協会のネットワーク組織の皆さんは、様々な工夫をされ、それぞれの活動を継続されてきました。ご苦労さまでした。「子どもたちの学びを止めてはいけない」という奈良のリーダーの言葉に励まされました。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。